

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク演習(専門)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	西川 孝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
精神障害者に対する疾病や障害特性に配慮した、相談面接の持ち方、コミュニティワークの展開などを事例を通じて学び、実習や実務に必要な相談援助技術を身につけていく。特にロールプレイを用いることによって、具体的に面接がどのようなものであるかを体感し、対象者と向き合った時に戸惑うことが軽減されるよう演習する						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、出席状況、定期試験、小レポート						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
精神保健福祉援助演習(1)中央法規、プリント						
《授業外における学習方法》						
友人や家族の協力を得てロールプレイを行なう。日頃から相談援助的な会話を意識する						
《履修に当たっての留意点》						
実践的なスキルが必要になってきます。授業で学んだことをプライベートな会話でも意識して相手と向き合ってみる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーションを通じて講義概要を理解できるようになる	プリント		配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	現時点での学生の精神保健福祉現場に対して持っているイメージと学生自身の将来像をひとり1人に聴き、それと結び合わせて今期授業の進め方を説明する			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉援助演習の意味と位置づけの理解し説明できるようになる	テキスト・プリント		配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	演習を行なうことの意味について精神保健福祉実習や精神保健福祉士の具体的な業務をイメージしながらなぜ必要かについて学ぶ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	演習の方法についてロールプレイを用いながら具体的に学び説明できるようになる	テキスト・プリント		配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	ロールプレイの意義、進め方、バズセッションやブレインストーミング、KJ法などについて実技を行ないながら学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	演習の方法について課題の発見、、分析・解決について理解を深め説明できるようになる	テキスト・プリント		配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	得た情報の整理法をジェノグラムやエコマップを実際に作成しながらフェイスシートの書き方について習得する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者理解と基本対応について学び説明できるようになる	テキスト・プリント		配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	利用者理解をその生活上の生きづらさと関連づけながらその課題を探り、精神保健福祉士に必要な基本対応について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	専門職の価値と倫理について学び説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワークにおける価値と倫理についてなぜそれが大切かそれがあることによって何が変わってくるかについて共有する			
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者理解の実技を通じて理解を深め説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	対人援助専門職のための利用者理解野志店とストレングスモデルについて学び、精神障害者の特性について考察する			
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ラポールを形成するには何が必要か、何が大切かについて学び説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	パისტECKの7つの原則やラポール形成のための具体的な技法についてその姿勢とともに学ぶ			
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	面接技術について学び習得し説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	面接技術について基本から応用まで学ぶ			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	電話相談、訪問相談など具体的な場面設定を行ない概要が説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	様々な具体的実践場面を設定してグループワークする			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワーク、家族心理教育、デイケアなど具体的な場面設定演習を行ない概要が説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	グループワーク、家族心理教育、デイケアなど具体的な場面設定しグループワークする			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	記録の技術の必要性を学び、具体的に習得を通じて概要が説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	記録の技術の必要性を学び、観察法。マッピング、技法など具体的な方法を習得する			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチにおける大切な心構えと具体的な方法を学び説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	ケアカンファレンスを具体的な事例を用いてグループワークで体得する			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	コンサルテーションの実際について具体的に学び説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
	各コマにおける授業予定	近年、精神保健福祉士が行なうコンサルテーションの必要性が増している。その現場と具体的な方法を学ぶ			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期授業の振り返りを通じて概要が説明できるようになる	テキスト・プリント	全体を振り返っての復習
	各コマにおける授業予定	前期授業を振り返って大切な部分の復習と試験の対策を練る			